

# 学校自慢

## 惜しまれつつ閉校

山武市立山武南中学校長

おおや たかゆき  
大矢 孝之



### 1 はじめに

本校は山武市の西部に位置し、周囲を緑で囲まれた自然豊かな高台（海拔 44.5m）にあり、冬はしっかり雪が積もる地域である。

平成 10 年 4 月に山武町立山武中学校より分離し、山武町立山武南中学校として開校した。平成 18 年 3 月市町村合併により山武市立山武南中学校となり、今年度で 21 年目を迎える。開校当初は生徒総数 476 名でスタートしたが、21 年経った現在は生徒総数 143 名となり今年度末で閉校となる。平成 31 年 4 月に分離した山武中学校と統合が決まっており、今年度が山武南中学校として最後の年となる。

### 2 学校自慢

学校自慢として、校歌と生徒を紹介したい。

本校の校歌には英語の歌詞が入っている。1 番から 3 番までそれぞれ最初の歌詞が英語になっている。「Do your best!」「Open your mind!」「Go your line!」。これは作詞者が「新しい学校にふさわしい歌詞を」ということを強く意識し、「学校の主体はそこに学ぶ生徒である」という考えを根幹に据えて制作したものである。英語の部分は命令形の形をとっているが、誰かからの命令ではなく、自分自身を励まし、奮い立たせてほしいという願いが込められている。さらに、歌い方は斉唱ではなく合唱（混声四部）である。学校として「歌声」は、「挨拶」「清掃」とともに力を入れているので、少ない人数と感ぜさせない歌声である。

生徒は素直な子供が多く、落ち着いて学校生活を送るとともに、委員会活動や部活動、

行事などに一生懸命取り組み、最後の一年ではあるが、さらに山武南中学校を良くしたいと活動している。3 年生の修学旅行では、京福電鉄の協力の下、閉校ということで四条大宮駅から嵐山駅まで特別列車を準備し、電車内には開校からの歴史がわかる中塗り広告を、電車のヘッドマークには校章を掲示してくれた。更に嵐山駅前ではミニコンサートを実施し、一般観光客 50 人ほどの前で生徒たちは堂々と歌い上げた。聴いている人に気持ちが伝わる感動的なミニコンサートであった。

2 年生の校外学習で登山を行った時は、山頂まで登った生徒数名が、遅れているクラスメイトを迎えに行くため下山し、荷物を持ち、背中を押すなど、生徒全員が登頂することができた。

1 学期に、全生徒一人一人と校長室で個人面接を行った。面接の最後に「学校生活は楽しいですか」と聞くと、全員が「楽しい」と答えるとともに、自然と笑顔になる生徒がたくさんいて、嬉しくなった。そして、生徒一人一人をよく見てくれている教職員に感謝の気持ちで一杯になった。

### 3 おわりに

生徒が充実した学校生活を送り、教職員が生徒一人一人をよく見てくれている学校が閉校となるのは非常に残念で寂しい気持ちではある。しかしそれぞれが次の新しいステージで活躍するためにも、残された期間を今まで以上に学校・家庭・地域が連携し、子供たちのために力を合わせて教育活動に取り組んでいきたい。